

## 職員教育の重要性

(中野・杉並感染管理ネットワークの活動を通じて)

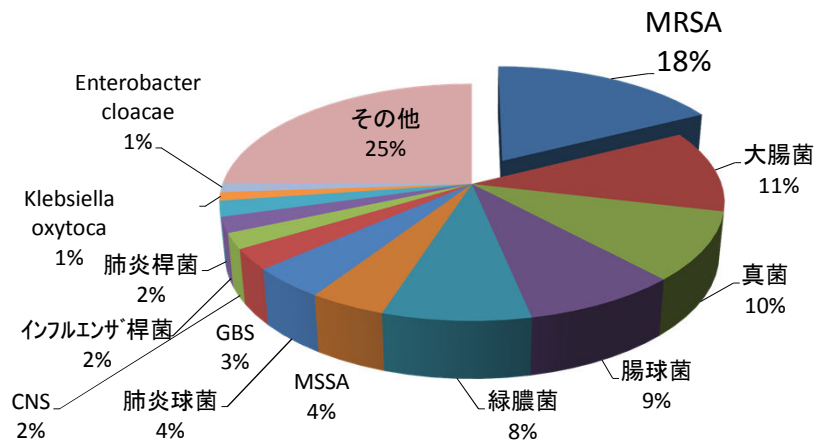
荻窪病院 ICT  
ICD 藤井 奨

## 本日の内容

- 荻窪病院におけるMRSA対策
  - 職員教育の内容とその効果
- 中野・杉並感染管理ネットワーク
  - 出張ラウンドとその成果

## 2009年 ICT会議での報告

- 2008年、病棟から提出された細菌培養検査から分離された菌(704株)の内訳



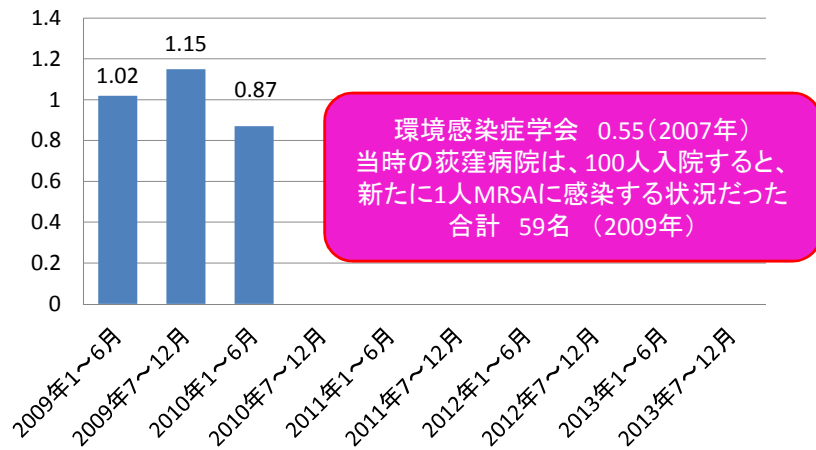
## 「これまで問題がなかった」



2009年(平成21年)  
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ  
球菌)はいつもみられる菌。  
荻窪病院では問題はないよ

## MRSA院内新規発生率

入院患者100例当たり、病院内で新規にMRSAが検出される症例数



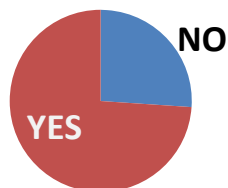
## MRSAの認識(2009年)

MRSAは接触感染で伝播する病原微生物である？

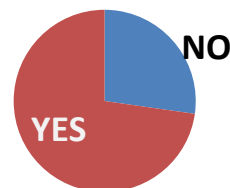
YES

NO

病棟看護師



薬剤科



## 速乾性アルコール製剤の払い出し量

- 2009年1～6月のエタプラスゲルの払い出し量



1日1患者あたり  
4.2ml



1日1患者あたり  
約2回

## 2009年 病棟の状況



## 問題点

- MRSAの知識不足
- 標準予防策や接触予防策の知識不足
- 手指衛生 & 標準予防策向上への環境整備

## MRSA感染防止対策

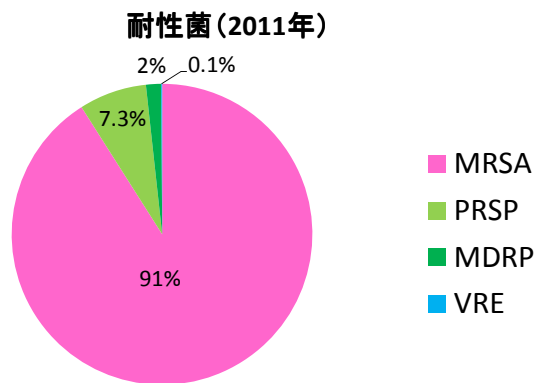
- MRSAとはどのような菌
- 必要な予防策(接触予防策)
- 個室隔離の必要性
- 積極的MRSA鼻腔培養の実施
- 環境支援



勉強会の実施

病院全体・病棟看護師会・医局会・看護助手会・薬局

## MRSAの理解



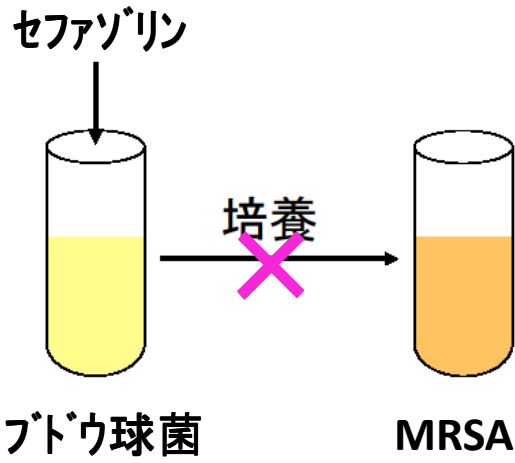
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業 2011年報告より抜粋

## MRSAの理解

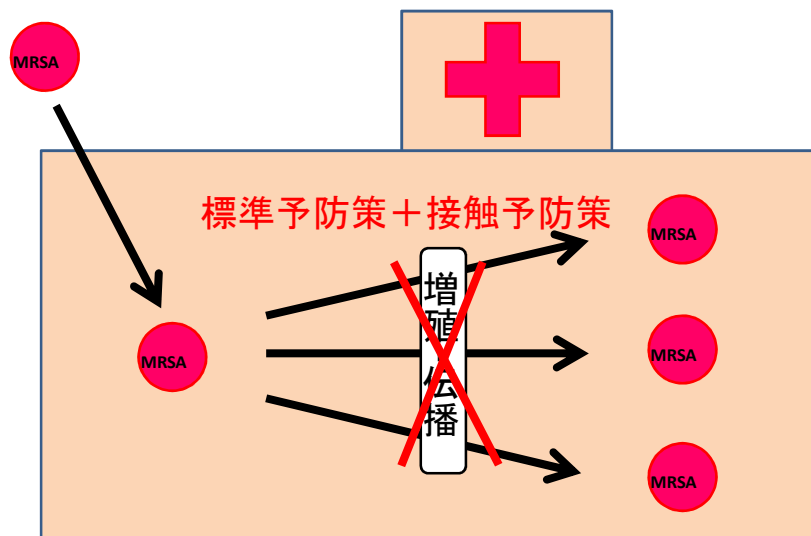


- ブドウ球菌はグラム陽性球菌
- ブドウ球菌は、人の体表面に広く分布
- ブドウ球菌は、頑丈で、熱や乾燥に強い。手指表面や衣類の上でも長期間生存可能
- ブドウ球菌のうち、MRSAは、ほとんどの抗菌薬に対して耐性。

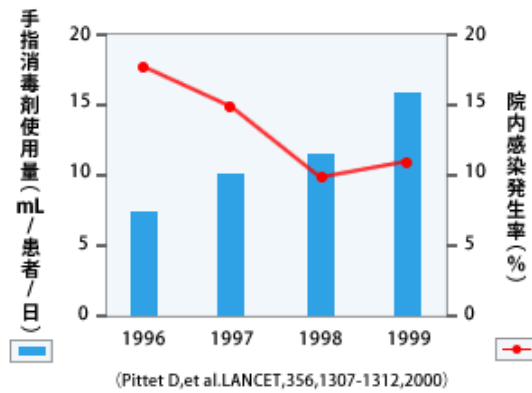
# MRSAは自然発生？



# MRSAの伝播



### 手指消毒と院内感染の関係を調べた報告



アルコール手指消毒剤の使用量が増えることによって、  
院内感染発生率も減少しています。

## 接触予防策の実践

### 個人防護具の配置



※当院の本館は築20年を经过おり、室内に個人防護具を設置することが困難



## 専門職による講演と院内ラウンド

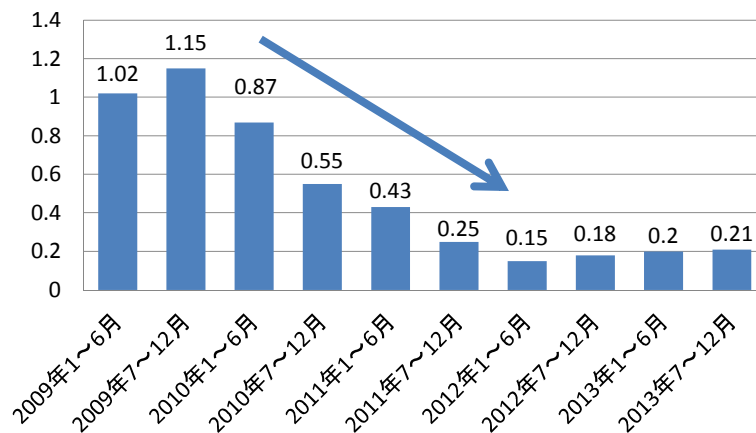
埼玉医科大学 感染症科 感染制御科 前崎 繁文教授  
愛知医科大学 感染症科 三嶋 廣繁教授

東京慈恵会医科大学 ICN 美島 路恵さん  
永寿総合病院 ICN 佐藤 久美さん

感染対策の講演だけでなく、院内をラウンドしていただき、感染対策に必要な環境整備などに関して、ご助言をいただき、改善につなげた。

## MRSA院内新規発生率

入院患者100例当たり、病院内で新規にMRSAが検出される症例数



環境感染症学会(2011年) 0.39%

## まとめ

- 「これまで問題はなかった」ではなく、自院の現状を数値化して、把握する。
- 院内感染対策には、職員の意識が重要。職員教育を通し、意識を高めることが改善につながる。
- 対策の具体化のためには、院内感染対策の教育を受けた医師や看護師に助言を受けると、進めやすい

## 院内感染対策の仲間作り

- 中野・杉並感染管理ネットワークは、中野区・杉並区にある病院内での感染対策の向上を図るために活動しております。
  - 勉強会
    - 感染対策の基本知識の再確認
  - 出張ラウンド
    - 環境整備
    - 感染対策の視点からの看護手順の助言
    - 抗菌薬選択の助言

## 出張ラウンドの効果

B病院ラウンド前



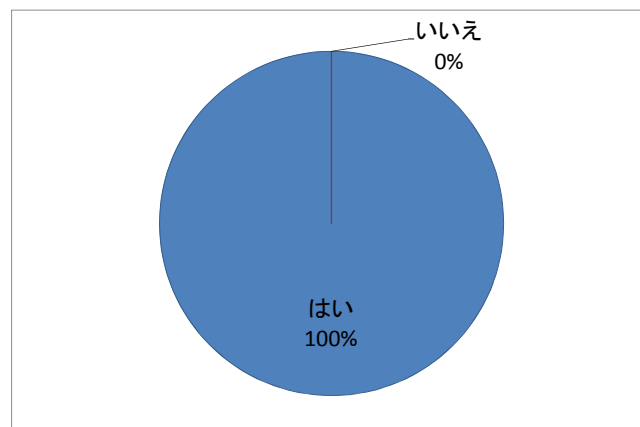
B病院ラウンド後



床上30cm以内は不潔領域！  
物を置かない！

## 出張ラウンドアンケート(3施設、N=20)

出張ラウンドで、自院の環境が改善されたと思いますか。



# 出張ラウンドアンケート(3施設、N=20)

出張ラウンドでどのような改善がありましたか？

